

音楽

第5回広島シャンソンフェスティバル フランス歌謡を存分に。

「日本シャンソン協会」に所属する、広島在住有志によるコンサート。趣味として極めるメンバーから、講師などプロとして活躍するメンバーまで、歌い手23人が出演する。「バラ色の人生」や「オー・シャンゼリゼ」など、多彩な名曲を楽しめよう。さらに今回はゲストに、プロシャンソン歌手・井関真人さんが来広。ヨーロッパで認められた歌唱を堪能できるチャンス。

時／ 9月16日(土)16:00～
会／ JMSアステールプラザ
中ホール
料／ 2,800円
問／ 大塚
TEL.090-7896-0384



音楽

ハーモニカクラブみどり 第5回ハーモニカ演奏会 懐かしい歌が盛りだくさん。



吉島公民館で活動中の「ハーモニカクラブみどり」が、発足5周年を記念しコンサートを開く。「みどり」のメンバー8名で日頃の成果を披露するほか、関係団体11グループも登場。曲目は「証城寺の狸ばやし」「恋の季節」「さよならはダンスの後に」「モーツァルトメドレー」「ドナウ河のさざなみ」など。童謡から懐メロ、クラシックの名曲まで幅広い選曲。来場者と一緒に歌う一幕も。

時／ 9月18日(月・祝)
13:00～16:00(予定)
会／ JMSアステールプラザ
中ホール
料／ 入場無料
問／ 事務局・中石
TEL.090-4898-9178

演劇
演芸
舞踊

シロ・ダブルス 劇団小豆組 第6回公演「Shiro Doubles ～天草四郎にかかる霧～」 天草四郎は2人いた?!

殺陣やアクションをまじえた創作時代劇が評判。劇団旗揚げ10周年記念となる今作は、日を分けた2部構成で展開する。物語の軸となるのは、天草四郎。江戸時代に起こったキリシタン一揆「島原の乱」を率いたとされる。話は、ただひとり生き残った残党の証言から動き出す。「天草四郎は二人おります」。二つの悲劇が、一つの結末へと向かう。

時／「一ノ乱 巡り合わせ編」
9月16日(土)18:30～、17日(日)13:30～
「二ノ乱 返り咲き編」
10月14日(土)18:30～、15日(日)13:30～
会／ 広島市青少年センター ホール
料／ 各公演一般2,000円、高校生以下1,000円(当日券は各+500円)、セット割一般3,500円、高校生以下1,500円
問／ 劇団小豆組・田中 TEL.080-6320-3610(WEB有)



映像

広島映画サークル協議会第401回例会 愛を積むひと 心洗う風景と物語。



©2015「愛を積むひと」製作委員会

今回は心温まる家族の物語をピックアップ。原作はエドワード・ムーニー・Jrのベストセラー小説。監督は『釣りバカ日誌』シリーズでおなじみの朝原雄三。北海道美瑛町の美しい四季を舞台に、夫婦愛、そして父と娘の親子愛を描く。妻(樋口可南子)を亡くし、失意の底に沈む夫(佐藤浩市)。再生までの、心の交流を丁寧に描く。ハンカチの用意をお忘れなく。

読者プレゼント(P.15に詳細)

時／ 9月24日(日)
13:00～、15:30～
会／ 広島県立美術館 地下1F講堂
料／ 一般1,400円
シニア・大学生1,200円
中・高校生1,000円
問／ 広島映画サークル協議会
TEL.090-6846-5051 (WEB有)

美術

レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展 ～日本初公開「タヴォラ・ドーリア」の謎～ 500年前の、幻の壁画を紐解く。

レオナルド・ダ・ヴィンチとミケランジェロ。二大巨匠の競演が予定されていたながら未完に終わった宮殿の大壁画《アンギアーリの戦い》。そのミステリーに迫る企画展。注目は、ダ・ヴィンチが壁に描いた戦闘場面の油彩による模写と、ミケランジェロが構想した壁画下絵の模写。いずれも日本初公開となる。それらに最新研究結果などの資料を加え、完成壁画を考える。

読者プレゼント(P.15に詳細)

時／ 9月5日(火)～10月22日(日)9:00～17:00
(金曜は20:00まで、初日は10:00から)
会／ 広島県立美術館
料／ 一般1,300円、高・大学生900円
小・中学生600円
問／ 広島県立美術館
TEL.082-221-6246 (WEB有)



作者不詳(レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく)「タヴォラ・ドーリア」(「アンギアーリの戦い」の軍旗争奪場面)
16世紀前半 フィレンツェ、ウフィッツィ美術館(2012年、東京富士美術館より寄贈)
Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi